

2021年度 柏崎刈羽原子力発電所緊急時演習における改善事項について

2022年2月4日に実施した柏崎刈羽原子力発電所緊急時演習において、以下の改善点を抽出した。抽出された内容に対し、改善に向けた取組みを検討する。

【抽出された内容】

No	改善内容	改善点	備考
1	通報文のチェック・作成過程の要領を改善	エクセルで作成したテンプレートであっても確実にチェックを行うことの意識づけ、作成過程における誤認識の防止のための判断資料を共有	来年度の柏崎刈羽緊急時演習において改善状況の確認が必要
2	ERCとの情報共有のタイミングを改善	状況の進展見通し（炉心注水の効果の可否等）を踏まえた上で中長期戦略を説明する等、情報共有すべき事項の優先度を判断した発話を行うように社内の認識共有、スピーカの教育訓練に反映	/
3	情報共有における発話要領等の工夫	優先度の高い情報の判断、丁寧に説明すべき場面と手短かに伝えるべき場面の判断等をスピーカの教育訓練に反映	更なる改善事項

抽出された改善事項の内、No.1は、来年度の柏崎刈羽原子力発電所緊急時演習にて確認する。

**No.1：通報文のチェック体制強化**

(1) 問題点

初報の通報文（ECCS系作動状態、地震発生時刻）のチェック漏れ、第25報、第28報及び第32報の作成過程で認識誤りが発生した。

(2) 課題

通報文作成はエクセルで作成したテンプレートを活用し、目標時間内での発信がなされているものの、ヒューマンエラーに起因する記載内容のチェック漏れ、作成過程における認識誤りを減らすための対策が必要である。

(3) 原因

通報班内では記載内容のチェック体制をルール化していたが、点検者と作成者がともに火災情報への対応に注力したことでチェックの際に、エクセルによるテンプレートで作成された箇所に対するチェックの意識が低下したこと、第28報及び第32報の誤選択（添付マトリクス表<sup>\*</sup>の誤選択）については、マトリクス表を号機班と共有しなかったことによる認識共有の不足が原因である。

<sup>\*</sup>第28報（15:25発信）に添付している「3つの障壁喪失または喪失の可能性判断マトリクス」

(4) 対策

今回の事例を共有し、エクセルによるテンプレートで作成された箇所であっても確実にチェックを行うことの意識づけを今後の訓練等を通じて継続していくとともに、EAL42シリーズの通報においては、号機班が作成するマトリクス表を共有して、作成過程における認識誤りの防止を図る。

## No.2 ERC との情報共有のタイミングの改善

### (1) 問題点

炉心注水作業中のタイミングを図った上で、社内検討した今後の展望を速報した状況であったものの、炉心損傷後の対応中という状況を考慮すれば、発話のタイミングとしては疑問だった。

### (2) 課題

中長期戦略の情報共有に適切なタイミングの整理、社内での認識共有が必要である。

### (3) 原因

ERC 等の関心対象、プラントの状況、注水戦略の進展といった全体を俯瞰することなく、炉心注水の効果が不明な段階であっても、中長期戦略説明の優先度が高いと判断したため。

### (4) 対策

状況の進展見通し（炉心注水の効果の可否等）を踏まえた上で中長期戦略を説明する等、情報共有すべき事項の優先度を判断した発話を行うように社内の認識共有、スピーカの教育訓練に反映

## No.3 情報共有における発話要領等の工夫

### (1) 問題点

更なる改善を目指すもののため、問題点なし。

### (2) 課題

ERC プラント班との情報共有を効果的に行うため、事象進展の状況と説明内容の緊急度を判断し、丁寧に説明する場面と手短に要点のみを伝える場면을適切に判断する等の工夫が必要である。

### (3) 原因

緊急事象はカットインして手短に発話していたものの、情報を正確に伝えることを重視し過ぎたため。

### (4) 対策

事象進展の状況と説明内容の緊急度を判断した上での発話等をスピーカの教育訓練に反映

以 上